

合併
30年

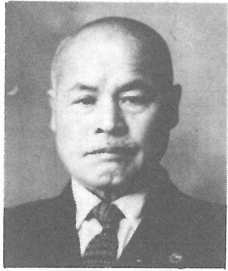
よもやま話

その
1 小沢春光
(栗山)

明春2月、横芝町は誕生30周年を迎えます。そこでおなじみの筆者に、この間のさまざまな思い出をつづっていただきました。

揺れ動いた合併案

対等を条件に大総・横芝・上堺が縁結ぶ



初代町長 椎名元治氏

香取郡の多古町と東条村が合併した昭和26年ごろは、「多古町も大きくなった」ぐらいにしか考えていなかった大総・横芝・上堺の各町村も、昭和28年に東金・公平ほか4町村が合併し、他の町村でも、町村合併への動きが台頭し始めると、合併バスに乗り遅れては……と、各々の思惑で、その準備にとりかかりました。

この町村でも同じだったようですが、まず議会議員・教育委員・農業委員その他主な公職者、農協、婦人及び青年関係団体代表などによる、町村合併準備協議会を設け、各方面から隣接する町村の動向を打診する一方、広く各地域住民、特に隣接する町村との交流が深い地域の意向を聴取するなどの作業を開始しました。しかし、さて合併の話となってくると、通学路の問題、役場への距離など、どれをとってみても、直接住民の生活につながる問題があり、また打診した相手町村では、既に別の町村と話し合いが始まっていたり、逆に予定していなかった町村から話が入ってくるなど、なかなか一本の筋が出ませんでした。



旧大総村役場



町村合併により本庁となった横芝町役場

そうしているうちに、山武郡内の町村でも一つ二つと話が進み、何となく大総・横芝・上堺・連沼・大平・松尾・豊岡の7町村だけが取り残された形となり、そこで、「いっそのこと、7町村での合併を考えてみては」と、主だった方々がその話し合いを行ったのですが、結局調整がつかないまま、大総・横芝・上堺の3町村での合併を推進しようということになり、初めて3町村合同の合併促進委員会が作られ、前向きな合併作業が開始されたのです。

促進委員会が発足してからも、各町村の地域単位には難しい申し出なども出てきました。しかし、よりよい町作りということで進められている町村合

あし

あと

30年

- 2 新横芝町誕生
- 2 初議会開催
- 3 椎名元治氏、町長に当選
- 4 町村合併祝賀会
- 4 神武景気、砂川闘争、プロレスブーム

31年

- 1 天然ガス試掘開吼式
- 3 中台遺跡発掘調査
- 3 姥山貝塚発掘調査
- 6 伊藤績夫氏、2代め町長に
- 6 日本国連加盟、慎太郎刈り
- 流行

32年

- 3 横芝町老人ホーム落成
- 9 屋形海岸に臨海寮完成
- 10 NHK受信所業務開始
- 12 新農山漁村建設事業始動
- 12 流感大流行、なべ底景気

33年

- 1 新町建設審議会設置
- 11 横芝・大総・上堺の3農協が合併
- 11 東京タワー完成、フラァー
- 11 プ、ロカビリーブーム